

図書館の本だな

～3・4年生 おすすめの本のリスト 2020～

プーさんとであった日

リンジー・マティック ぶん ソフィー・ブラッコール え

山口 文生 やく 評論社 Eーブ

い^{いま}今から100年ぐ^{ねん}らいまえ、カナダにハリー・コールボーンというじゅういしがいました。
ある日、ハリーは軍馬のめんどうをみるために、おおくの兵士をのせた汽車にのり、遠くの戦
場へ行くことになりました。汽車がホワイト・リバーというところ^{とき}でとまった時、ハリーは
りょうしに連れられたコグマに出会います。コグマはウィニーと名づけられ、軍隊の一員にな
りました。

菜の子ちゃんとマジムンの森

富安 陽子 作 福音館書店 913ート

おきなわ^すに^{しょうがくよ}住む小学四年生のユージくんは、転校生の菜の子ちゃんと学校の帰り道でふし
ぎな文字^かが書いてある葉っぱ^はをひろいました。教室の窓から見えた赤い髪の子ども、妖
怪^{かい}ブナガヤの落とし物^{もの}でしょうか。葉っぱをとどけてあげるため、ユージくんと菜の子ち
ゃんは、大きな二匹のシーサーの背にまたがり、マジムンの森めざして夜空を駆けのぼ
りました。

りこうすぎた王子

アンドリュー・ラング 作 福本 友美子 訳 岩波書店 933ーラ

パントウフリアという国^{くに}のプリジオ王子^{おうじ}は、りこうすぎたためにみんなからきられ
ていました。なかでも王子のことをいちばんきらっていたのは王子のおとうさま、グロ
グニオ王^{おう}でした。あるとき王さまはプリジオ王子^{おうじ}をなき者^{もの}にするために、王子に火をふ
く竜^{りゅう}を退治^{たいじ}しに行くよう命令^{めいれい}します。

あかいえのぐ

エドワード・アーディゾーニ 作 津森 優子 訳 瑞雲舎 Eーア

サラとサイモンはおかあさんとあかちゃん、えかきのおとうさんのかぞくみんなで、ひとへやだけのアパートにすんでいました。おとうさんはうつくしいえをかくのですが、なかなかうれえません。もうすぐけっさくがかんせいするというあるひ、しあげのためのあかいえのぐをかうおかねがとうとうなくなってしまいました。サラとサイモンはなんとかしようと、ふるほんやさんにいって、これからのことをはなしあいました。

あららのはたけ

村中 李衣 作 偕成社 913ーム

4年生のえりは、おじいちゃんが病びょう気きになったので、家族三人大決心して横浜よこはまから山口やまぐちへ引っこしてきました。えりは自分の畑はたけをまかせ、野菜やさいを作りはじめます。畑はたけの事ことを横浜よこの友ともだちエミに手紙てがみで伝つたえたところ、返事へんじには学校がっこうにこなくなったけんちゃんのことことが書かいてありました。

王さまになった羊飼ひつじい チベットの昔話

松瀬 七織 再話 イ ヨンギョン 絵 福音館書店 Eーイ

むかし、ある地主じぬしの家に羊飼ひつじいの男おとこの子こがいて、いつもひもじい思おもいをしていました。男おとこの子こは、草原そうげんにやってくる一羽いちわのうさぎうさぎにまい日にちツアンパ（チベット人の主食）をわけてやっていた。それが百ひゃく日にち目めになったとき、うさぎうさぎは消きえて白しろい髪かみ、白しろいひげ、白しろい服ふくのおじいさんがあらわれました。おじいさんはお礼れいに男おとこの子こがどうぶつどうぶつのことことばをわかるようにしてくれました。

ルイージといじわるなへいたいさん

ルイス・スロボドキン 作・絵 こみや ゆう 訳 徳間書店 933ース

ルイージはイタリアにすむ男おとこの子こ。まいしゅう土どよう日び、国境こっきょうをこえるバスにのり、スイスのバイオリンの先生せんせいのところへかよっています。バスにはいつも、国境こっきょうをまもるへいたいさんたちがのりこんできます。あるときから、はじめて見るへいたいさんが、ルイージのにもつをしらべるといって、おべんとうのサンドイッチをめぐったり、ケーキをゆびでおしつぶしたりするようになりました。

のんきなりゅう

ケネス・グレアム 作 中川 千尋 訳 徳間書店 933-グ

ひつじかいのむすこが丘^{おか}のてっぺんへつづく道をのぼっていると、ほらあなのまえに大きな^{おお}りゅうがねそべっていました。このりゅうはおとなしくひかえめで、男^{おとこ}の子はりゅうから大む^{おお}かしの物語^{ものがたり}や古い詩^{ふるし}をきかせてもらい、友だち^{とも}になりました。ところがある日^ひ、りゅうをたいじしようと、聖ジョージというりっぱな騎士^{きし}が村^{むら}へやってきてしまいました。

エンザロ村のかまど

さくま ゆみこ 文 沢田 としき 絵 福音館書店 333-サ

アフリカのケニアには、エンザロ・ジコとよばれるじまのかまどがあります。これはなべ^{なべ}をかける口^{くち}が3つある便利^{べんり}なかまどで、日本人^{にほんじん}の女性^{じょせい}が考^{かんが}え出^だしました。ケニア^{けニア}の人^{ひと}たちが、ケニア^{けニア}にある材^{ざいりょう}料^{つく}で作^{かんが}れるように考^{かんが}えたのです。最新^{さいしん}の機^き械^{かい}よりも、昔^{むかし}からの日本^{にほん}人^{じん}の知^ち恵^えや手^てづくりの技^ぎ術^{じゆつ}の方が、ケニア^{けニア}のた^{ひと}くさ^{せいかつ}ん^{あんぜん}の人^{べんり}たちの生^{せい}活^{かつ}を安^{あん}全^{ぜん}に便^{べん}利^りにしたのです。

わくわく こども詩集

童話屋 911-ワ

声^{こえ}に出^だして読^よんでみてください。「どうしておなかがへるのかな けんかをするとへるのかな」あれ？うたっていませんか？そんな、たちまち覚^{おぼ}えてしま^しう詩^しが、この本^{ほん}にた^すくさ^しん^みんあります。好^すきな詩^しがみ^みつかったら、うたって、おど^{たの}って楽^{たの}しんでください。